

社会資本総合整備計画（地域住宅計画）の事後評価報告シート

1. 事後評価を実施した社会資本総合整備計画	
①計画の名称	吹田市社会資本総合整備計画
②都道府県名	大阪府
③計画作成主体	吹田市
④計画期間	平成19年度～22年度
⑤計画の目標	住宅の安全性・居住性の向上により、魅力的な住まい・まちづくりを推進する。 ・住まいの安心・安全の促進 ・快適なマンション居住の推進 ・住宅困窮者等の安定居住の確保 ・ライフステージに応じた定住促進 ・市民による住まいとまちづくりの推進
2. 事後評価の内容	
⑥実施体制・時期	吹田市（住宅政策課）において評価を行い確定（平成23年8月）
⑦事後評価の結果	<p>指標①：「市営住宅の居住性が向上した住宅の割合」 定義：直圧給水化された市営住宅の割合 評価方法：平成22年度末時点で直圧給水化に伴う改善事業により、市営住宅の居住性が向上した住宅の割合について評価を行う。 結果：従前値：46%（18年度）⇒目標値：75%（22年度）⇒実績値：75% 結果の分析：直圧給水されていない市営住宅について、公営住宅等ストック総合改善事業（189戸）及び改良住宅ストック総合改善事業（120戸）により直圧給水改善事業を実施した結果、H22年度末時点で吹田市営住宅全戸数1189戸中、884戸の直圧給水化が図られ、計画の目標値を達成した。 残りの住宅については、除却予定住宅を除き、年次計画的に直圧給水化を実施する。</p> <p>指標②：「市営住宅の安心・安全性が向上した住宅の割合」 定義：耐震安全性を確認または、確保した市営住宅の割合 評価方法：平成22年度末時点で耐震改修工事に伴う改善事業により、市営住宅の安全性が向上した住宅の割合について評価を行う。 結果：従前値：42%（18年度）⇒目標値：61%（22年度）⇒実績値：67% 結果の分析：耐震性の確保ができていない市営住宅について、公営住宅等ストック総合改善事業（20戸）及び改良住宅ストック総合改善事業（90戸）の耐震改修工事を実施した。平成22年度末時点で吹田市営住宅全戸数1189戸中、791戸の耐震安全性が確保され、計画の目標値を達成した。残りの耐震性の確保できていない住宅については、除却予定の住宅を除き、耐震改修工事を実施する。</p>
⑧結果の公表方法	吹田市のホームページにて公表を行う。
3. 事後評価の結果を踏まえた今後の住宅施策の取組への反映等	
⑨今後の住宅施策の取組への反映	<ul style="list-style-type: none"> ・吹田市公営住宅等長寿命化計画に基づき、各住棟の維持管理を行うとともに市営住宅の安全性の確保のため、耐震改修工事については、国及び大阪府の住生活基本法に掲げられた目標指標達成のため引きつづき最優先で取組む。 ・平成23年度に策定する吹田市住宅マスタープランに基づく施策の重点的な課題に対応した取組みを進める。
⑩その他	（特記すべき事項があれば記載）

※この事後評価は別添の社会資本総合整備計画（地域住宅計画）について行ったものである。